

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【地震一口メモ】

「令和4年度巨大地震対策オンライン講演会」を開催します

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

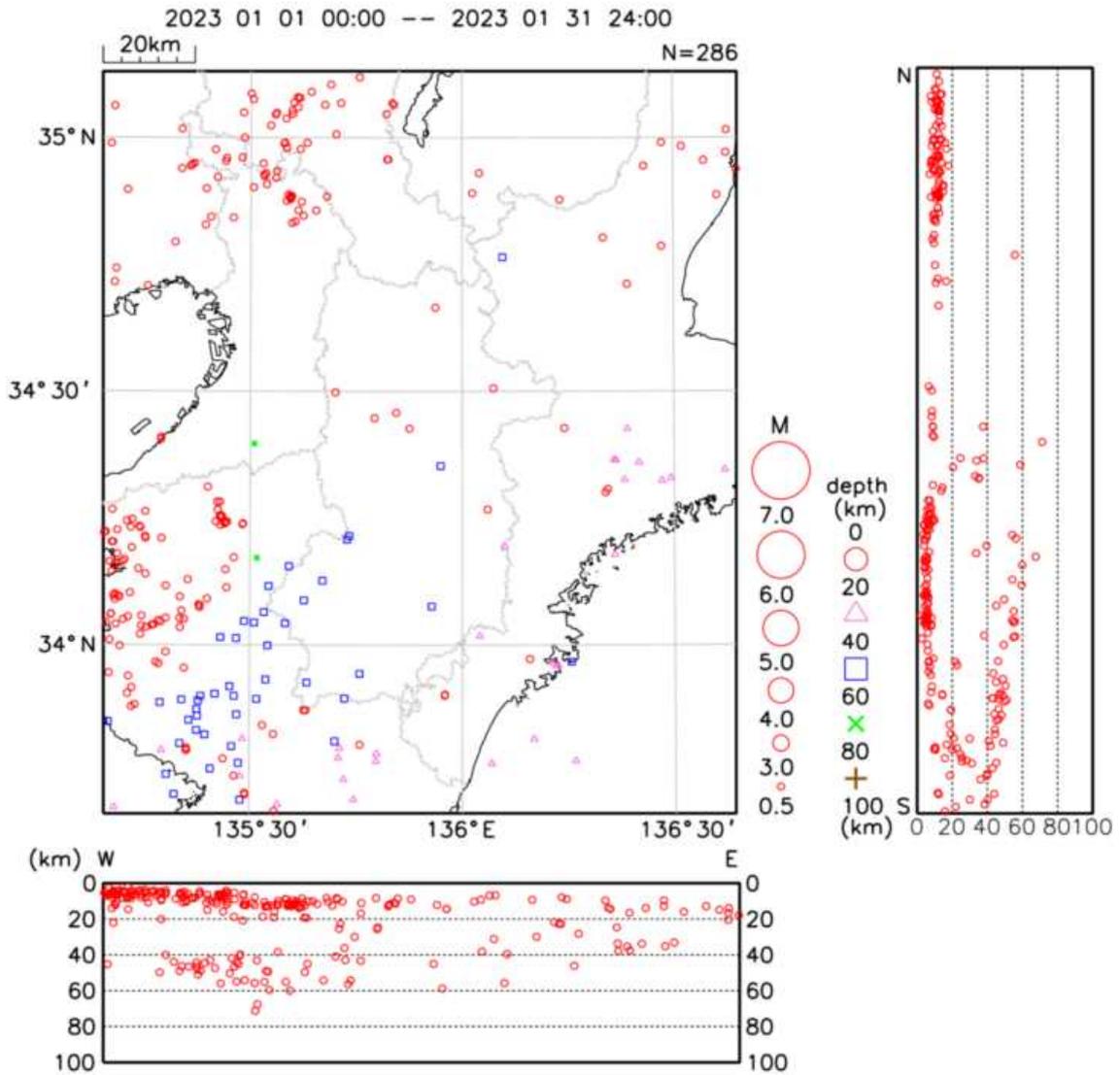
奈良地方気象台

2023年1月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

奈良県内で1月に震度1以上を観測した地震はありませんでした。

【地震一口メモ】

「令和4年度巨大地震対策オンライン講演会」を開催します

南海トラフや日本海溝・千島海溝沿いでは、巨大地震の発生が懸念されています。気象庁は、こうした巨大地震発生時には緊急地震速報や津波警報等を発表するほか、もしも巨大地震発生の可能性が平時より相対的に高まった時には、「南海トラフ地震臨時情報」や「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表します。

これらの情報を被害軽減のために最大限活用いただけるよう、オンライン講演会を開催します。いざという時のために、是非ご参加ください！

- 日 時 ライブ配信：令和5年2月18日（土）13時30分～16時30分
アーカイブ配信：令和5年3月から1年程度
- 主 催 気象庁、内閣府政策統括官（防災担当）、（一財）気象業務支援センター、緊急地震速報利用者協議会
- 後 援 （一財）全日本ろうあ連盟、地球ウォッチャーズー気象友の会ー
- 参加費 無料
- 定 員 ライブ配信：1,000名（事前登録制）
アーカイブ配信：どなたでも視聴可能
- その他 全講座 手話通訳付き

講演題目等の詳細や事前登録方法等は、下記の特設サイトに掲載しています。ライブ配信後、アーカイブ動画の配信を開始しましたら、こちらの特設サイトに掲載します。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/jishin_bosai/r4_lecture.html

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去数年間程度分掲載しています。
URL：https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm

